

校長挨拶 (2学期終業式)

皆さん、おはようございます。今日はリモートで終業式の挨拶をします。さて、いよいよ今年も残すところあと1週間となりました。この1年を振り返ってみてどうでしたか？もちろん、今年はコロナ抜きで語ることはできません。皆さんも知っていると思いますが、今年の新語・流行語大賞にも「3密」という言葉が大賞に選ばれました。トップ10にもコロナに関係する言葉が5つも選ばれていたようです。また、自宅で過ごすことが増えた結果、「あつ森」などのゲームソフトや謎解きなども流行しました。「鬼滅の刃」も大ヒットしましたね。

それでは突然ですが、ここで少し頭の体操をしましょう。

(中略)

また、毎年、日本漢字能力検定協会が発表している「今年の漢字」というのがありますね。ちなみに今年は何が選ばれたのでしょうか？正解は「密」です。ここにも、コロナの影響が色濃く出ていますね。ただし、この「密」という漢字には、「すきまがない」、「ぎっしりと詰まっている」という意味の他に、「関係が深い」、「親しい」という意味もあります。私自身も今年にはコロナによる自粛で、普段であればお会いする方々と会えないことが多かったです。そんな中で、人との付き合いについて、あらためて考えさせられた1年でもありました。そして、物理的な距離や対面で会う時間の長さだけに人間関係の親密さが左右されてはいけないと思いつくようになりました。

話を戻します。私にとって今年の漢字を考えてみました。結果、思い浮かんだのが、「信」です。世の中には、様々な情報があふれています。そんな中で、ともすれば自分自身を見失ってしまいそうになります。なぜ、自分はここにいるのか。何のために日々頑張っているのか。そして、どう生きていこうとしているのか。今一度、立ち止まって考えてみてはどうでしょうか。そうすることで、今の自分が見えてくると思います。その今の自分を認めてやりましょう。そして、信じてやりましょう。自分のことを分かったうえで、信じてやれるのは自分しかいないのですから。この自分自身を「信じる」心が、きっと皆さんの明るい未来を創ってくれると思います。

それでは、最後に、田口久人さんの詩を紹介します。

『信じればいい』

他人の言葉より 自分の行動を信じる
見えない不安より 自分の想いを信じる
消せない過去より 自分の未来を信じる
間違ってもいい 迷ってもいい 信じる道を進めばいい
信じることができた 自分を誇りに思えばいい
最後まで自分を信じるのが すべてを可能にする

来たるべき2021年が皆さんにとって、素晴らしい年になることを心から祈っています。以上で終業式の挨拶を終わります。

令和2年12月24日

兵庫県立生野高等学校長 福田 孝善